

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2021~22年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日

会長 福田 和子

例会場：パレスホテル大宮

幹事 押野 一郎

第2729例会 2022/04/18

例会日：月曜日 12:30~13:30

雑誌・会報委員会 廿野 幸一

発行日 2022/04/25

会長挨拶



会長 福田 和子
皆様こんにちは、
新年度のお忙しいと
ころ、ご出席ありが
とうございます。

嬉しいニュースが
あります。高橋秀樹
年度（2017-18年度）
の米山記念奨学生で
あった、シャキヤ・
スラクシャさんが、

4/12、3020gの元気な男の子を出産しました。
母子ともに健康で「レオン・マン・シャキヤ」と名付けられたそうです。おめでとうございます。

このところ物価が上がる懸念材料が多くあります。特に気になるのは、生活の基本となる食料の原材料 小麦が値上げされるとの情報です。

5月は「麦秋」、畑は黄金色に輝き、収穫の季節です。私も子どもの頃のその景色が記憶にあります。刈り取られた畑には、沢山のスズメが群がっていました。

その風景はミレーの「落穂拾い」と重なります。皆様も一度は目にしたことがあると思います。ちなみに、ミレーのコレクションは山梨県立美術館にもあります。以前、見学したことがあります。

「落穂拾い」は、貧しい3人の農婦が収穫後の畑にかがみこみ、残った麦の穂を拾い集めている絵です。与えられた生活をただ生きることの清らかさを表現したものです。農場主は収穫する際、日々の糧に困る人のため刈りつくさず穂を残しておく、そんな暗黙のルールがあったそうです。「空腹を満たすパンの材料を集めて、少しでも生活の足しになるように」という配慮

ですね。

世界の主な小麦生産国は、“欧州のパンかご”と言われるウクライナです。この悲惨な戦争が、小麦の生産に暗い影を落として、じわじわと食糧危機が迫っています。こんな愚かな戦争のため、誰も飢えさせてはならないです。畑に落穂を残した先人のごとく、私たちにも“慈悲の心”が必要です。

本日は、心の教育もされている、4代目 佐藤栄学園 理事長の 田中 淳子 様に貴重な卓話をいただきます。多くの卒業生を世に送り出している学園として、教育と子どもたちの夢の実現をどうされているのかが興味がありますので、ぜひともお聞きかせたいと思います。よろしくお願いいたします。

これにて会長挨拶とさせていただきます。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

島野 良紀 会員



お客様紹介・米山記念奨学生紹介

- 学校法人佐藤栄学園 理事長 田中 淳子 様
- 学校法人佐藤栄学園 教諭 菅野 琢也 様
- 2022 学年度 米山記念奨学生
グエンティガンさん



(ご紹介： 副会長 藤嶋 剛史)

心に夢を 奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

